

5月26日（水）

探究活動説明会
探究活動の取り組みについておよび
各領域の大まかな課題を学びました。



6月23日（水）

領域別出前講座

市役所職員・大学の先生からテーマ設定や問題解決あり方を学びました。

令和3年度 1年探究活動



身近な課題を聴き演講

能代高 探究活動スタート

能代高(山田浩充校長)で23日、大学教員や能代市職員らを講師に迎えた講演会



大学教員が専門領域を生徒に紹介した講演会
(能代高で)

が開かれた。聴講した1年生たちは今後グループごとに取り組む調査研究に向けて古里の現状や課題、さまざまな視点からの研究テーマ

マへのアプローチの方法について理解を深めた。講演会は、同校のキャリア教育「ニューウィルプロジェクト」の核となる探究

活動の一端。▽アグリ▽グリーン▽ヘルス▽ライフ▽ツーリズム―の5領域に分かれ、1年間かけてグループごとに地域の課題を調査、解決・改善策をまとめて提言する学習に取り組む1年生に、それぞれの領域への理解を深めてもらおうと企画した。

領域ごとに講演が行われ、前半に市職員が市の課題と政策内容について話した。後半は秋田大や県立大、日本赤十字秋田看護大の教員がそれぞれの領域に関連したテーマで講演。このうち、グリーン領域では、県立大生物資源科学部の谷口吉光教授(環境社会学)が「脱炭素社会(カーボンニュートラル)」について解説し、生徒らに研究テーマを設定するヒントをアドバイスした。

谷口教授は地上にある有機物由来の二酸化炭素の排出について「炭素循環の中にあるため、二酸化炭素の排出量は実質プラスマイナスゼロとなる」が、化石燃料は「木などとは異なり、二酸化炭素を吸収しない。比較的短い期間で大量に採掘し燃やしてきたことで、大気中の二酸化炭素の量が増えた」と解説した。

また「脱炭素化に向けてどのように新しい仕事や産業を生み出すか」というテーマの下で研究テーマを設定するポイントとして「石油や石炭が使えない社会で皆さんが両親と同じくらいの年齢になった時に、どうやったら快適な生活を送れるかイメージしてほしい。1人ひとりが想像力を働か

せて課題に向き合おう」と呼び掛けた。

斉藤心佳君は「温暖化や再生可能エネルギーについては以前から関心があったが、講演を通して課題をより身近に感じた。二酸化炭素を多く排出する火力発電からクリーンエネルギーを使った発電へと早くシフトするための方法を考えていきたい」と話していた。

10月19日（火）フィールドワーク

9月の予定を変更しての実施となりました。

予定変更にもかかわらず対応いただきました。
たくさんの方々の御協力ありがとうございます。

11月17日（水）中間発表
市役所職員・大学の先生から指導・助言をいただきました。



1 1月23日（火）能代青年会議所 70周年記念事業

本年度は、青年会議所の次世代育成事業でテーマ設定等アドバイスをいただきました。
各領域の代表がここまでの成果をオンラインで発表させていただきました。



令和3年度 1年探究活動

12月15日（水）成果発表会
市役所職員・大学の先生からご講評をいただきました。



2月9日（水）優秀発表会

令和3年度 探究活動

1・2年生合同で優秀者が発表しました。

1月の予定でしたが延期となりオンラインで行いました。

